

研究指導教員

● 日本赤十字北海道看護大学

教授 安酸 史子

看護学生教育(特に実習教育)、患者教育(特に慢性期の患者教育)、看護師教育、看護教師教育についてケアリング理論を基盤に実践研究の方法論について探求する。

教授 西片 久美子

慢性疾患や認知症とともに生きる高齢者とその家族の支援に関する研究指導を行う。

教授 石崎 智子

療養生活を送る人々およびその支援者のメンタルケアや精神障がい者支援の課題を改善・改革し、療養生活を営む人々がより良い生活を送ることができるような支援に関する研究指導を行う。

教授 志賀 加奈子

予防接種を受ける親子への支援および支援を提供する看護者へのサポートに関する研究指導を行う。

● 日本赤十字秋田看護大学

教授 原 玲子

質の高い看護サービスを提供するための看護組織のあり方や看護職のキャリア開発、継続教育に関する研究指導を行う。

教授 新田 純子

慢性疾患とともに生活する人々への看護援助に関する研究指導を行う。

教授 志賀 くに子

思春期を中心とした健康教育のあり方や方法に関する研究指導を行う。

教授 高田 由美

在宅療養者や認知症高齢者の食生活を支える看護援助に関する研究指導を行う。

教授 阿部 範子

親の育児困難感を低減するために、親サイド・子どもサイド、また子育てを支援する家族や育児環境の視点から、解決策探求に関わる研究を支援する。

●日本赤十字豊田看護大学

教授 鎌倉 やよい

周術期にある人、摂食嚥下障害を有する人に対する看護ケアプログラムの開発を中心課題とし、主にシングルケースデザインに基づく介入研究を指導する。

教授 百瀬 由美子

フレイル予防、認知症高齢者ケア、家族介護者支援、老年・在宅看護学領域における倫理的課題等に関する研究指導を行う。

教授 山田 聡子

看護基礎教育における看護倫理教育の在り方と方法に関する課題や、臨地実習指導における指導者役割と指導方法に関する課題に焦点をあてた研究指導を行う。

教授 東野 督子

医療関連や療養環境における感染を予防するための専門的な援助方法や、口腔ケア、教育プログラム、急性期状況にある人に関する研究指導を行う。

教授 野口 眞弓

在院日数の短縮化の中での母乳育児に関するケアの充実、および、それを支えるサポート体制づくりに関する研究指導を行う。

教授 大西 文子

てんかんやネフローゼ等の健康障害をもつ小児とその家族の日常生活支援のための看護援助に関する研究指導を行う。

教授 カルデナス 暁東

自己免疫疾患など慢性疾患をもつ患者とその家族の療養生活における自己管理、また外見上に課題を抱える患者の生活の質を高める看護支援に関する研究指導を行う。

●日本赤十字広島看護大学

教授 田村 由美

IPWを基盤にした災害への備えに関する研究、災害時の避難所看護実践モデル開発に関する研究指導を行う。

教授 百田 武司

脳卒中や認知症などの高齢者やその家族の健康問題の解決やQOLを高める看護援助方法の開発・検証に関する研究指導を行う。

●日本赤十字九州国際看護大学

教授 小松 浩子

がんや慢性疾患とともに生きる人やその家族の支援、ならびに百寿者を含む高齢者の支援に関する研究指導を行う。

教授 姫野 稔子

老年期にある対象者や家族への支援および倫理的問題、看護介入の効果の測定ならびに看護介入プログラムや教育プログラムの開発に関する研究指導を行う。

教授 櫻本 秀明

小児から高齢者までを含むクリティカルケアをうける患者や、その家族の支援に関する研究指導を行う。

教授 高橋 清美

精神障がい者の支援に関する研究、地域における精神疾患に関する課題に焦点をあてた研究指導を行う。

教授 永松 美雪

リプロダクティブ・ヘルス/ライツの課題に関連する要因の分析、その支援と予防モデルの開発および評価に焦点を当てた研究指導を行う。

教授 本田 多美枝

キャリア各期の特性に応じた人材開発の方法、リフレクションを活用した看護職の実践力開発の方法論、熟達化に関する看護モデル開発に焦点を当てた研究指導を行う。
